

第11回 第3分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所第2分庁舎 ②-1会議室
日 時	平成17年11月24日 午後6時30分～午後9時00分	記録者	【学生補助員】 蛇石、安達
		責任者	区事務局（黒澤）
会議出席者：58名 傍聴者2名 （区民委員：38名 学識委員：2名 区職員：14名 コンサル：4名）			
■配布資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3分科会（第11回）次第</li> <li>● 第3分科会（第10回）会議録（概要）</li> <li>● 平成17年度 新宿区区民意識調査（速報版）</li> <li>● 平成17年度 新宿区のまちづくりに関するアンケート（速報版）</li> <li>● 第5回及び第6回「新宿まちづくり学」講座のお知らせ</li> </ul> ■進行内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 グループディスカッション</li> <li>3 閉会</li> </ol> ■会議内容                 【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員、▲：コンサル <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○： みなさんこんばんは。それでは第三分科会を只今より始めたいと思います。本日は本格的にグループ討議を進めるということで都市計画部から職員が各グループに一名ずつ入らせていただいて、皆様と一緒にやっていきたいと思いますので、都市計画部の飯塚よりご紹介いたします。よろしく願います。</li> <li>○： みなさんこんばんは。今日から本格的に班に分かれて討論をしていただくということで、都市計画部よりみなさんのお役に立てそうな人材を集めて議論に参加させていただきたいと思い、今日連れてまいりました。それで、趣旨的には区役所の人間だからということではなくて、ざっくばらんにこういったところはどうか、あるいは区がどうやっているのかななどの疑問ですとか、そういった議論の一員として参加させていただきたいと思っております。それで紹介させていただきます。住宅課の逸見係長です。住まい・暮らしの班に参加させていただきます。都市計画課の阿川係長です。支えあい・仕組みの班です。隣が都市計画課小俣主査です。私と一緒に魅力と賑わいの班に入らせていただきます。隣が、建築調整課の清水係長です。超高層建築の班で具体的にお話をさせていただければと思います。隣が地域整備課の須藤です。主に再開発ですとか木密の方の課ですので、今日は住まい・暮らしの方でお役に立てればと思</li> </ul> </li> </ol>			

っております。隣が建築課の小野寺です。安全・安心の方で防災や建築の耐震化についてお話をさせていただきたいと思います。隣が地区計画課の向です。彼は景観のエキスパートなのでまちなみ・景観でお役に立てればと思います。道とみどりの課の渡辺さんです。みち・ネットワークの方でお役に立てればと思います。都市計画課の関口です。同じくみち・ネットワークの方でお役に立てればと思います。都市計画課施設計画係長の城倉です。渡辺・関口・城倉で人数が多いと思いますが、毎回3人が来れるわけではないので、適宜参加させていただきたいと思います。隣が、土木課の小野川です。主に公園をメインにやっている課ですから、うるおい・公園の班に参加させていただきます。ちょっと大人数になってはいますが、議論に参加させていただけると来ておりますので、どうかよろしく願いいたします。では、これから班の方に入らせていただきます。

- ： それでは、お手元にお配りしました資料の確認をいたします。

(配布資料の確認)

続きまして新宿区のまちづくりに関するアンケート速報版ということでこれは都市計画部の方から出していただいている資料ですので、のご案内をさせていただきます。

- ： 都市計画課の橋口です。新宿区のまちづくりに関するアンケート速報版というものをお配りしていますが、区全体で行うアンケートを補足する意味でより詳細なアンケートをしようということで、都市マスタープランの作成と景観計画の策定にあわせてより補完するためのアンケートとして実施したものです。一枚めくっていただきますと1ページに調査目的、調査設計、回収結果とありますが、大きく3つのアンケートを実施しております。回収結果を見ていただきますと、調査対象が区民の方2000人、中学生(2年生)、事業者の方(区内で働いている方)以上三者合わせまして大体4000の方にアンケートをしております。回収結果は謝礼のないアンケートなので、回答数が少なくなっていますが、それなりの結果が出ているのかなと思います。時間がないので簡単に特徴をご説明いたしますと3つの特徴があります。4ページを見ていただくと、これから何をまちづくりとして優先したらいいか、「優先されるべきまちづくり」です。特徴としては、大きく、災害に強い・治安のよい、安全・安心なまちづくりを9割近くの方が望んでいます。2つ目は景観で7ページをご覧ください。景観づくりの担い手です。通常、この調査をやりますと景観づくりは誰がやっていくかというところで、一般的には行政が中心となって景観づくりをすすめるという1番が一般的に多くなるものですが、新宿区の場合には3番の住民・事業者・行政が合意形成しながら景観づくりをすすめる、協働でやっていきましょう、パートナーシップを取ってやっていきましょう、というのが7割を超

えている71.4%という数字が出ています。ですから、新宿区の方は意外と景観に一所懸命取り組んでいただけたのかなという風に思っております。それから、3つ目の特徴はこれが非常に面白い結果なんです、8ページを見ていただきますと、区民の方の今後の居住意向が出ております。これを見ていただくと、区民の方は「ぜひ住み続けたいと思う」が32%、「できればすみ続けたいと思う」が50.7%で、あわせて8割以上の方が新宿にこれからも住み続けたい、そういう意思をもっていらっしゃるというのがわかります。それに対して、17ページをご覧ください。新宿区で働いている方の居住意向です。「新宿区に住みたいと思いますか」という質問をいたしまして、「ぜひ住んでみたい」が5.5%、「やや住んでみたい」が12.4%、あわせても2割以下の方しか、新宿区に住みたいと思っていない。「あまり住みたいと思わない」が46.8%、「住みたくない」が29.2%、8割近くの方が新宿区に住みたくないということで、新宿区に住んでいる人と外の人と正反対の結果が出ています。ですから、外から見ている新宿区というのはあまり住みたくないけれども、実は住んでみると良い所なのではないかというのがこのアンケートから伺えるのかなと思います。これからの検討の中で、こちらの方も活用していただければと思います。よろしく申し上げます。

○： ありがとうございます。皆様にご報告がございまして、前回第三分科会終了後、グループリーダーの方にお集まりをいただいて、後日グループリーダーの方たちと学識経験者の先生と事務局で集まりまして、今後の進め方等の話をさせていただきました。それに基づいて、これからグループ討議を進めていただくということで、その点につきましては皆さんのグループリーダーがご存知ですのでリーダーの指示に従いながら、これから進めていただきたいと思います。それで、ご報告というのは、2月に行われます中間のまとめ発表会のお手伝いをいただくワーキンググループに、それぞれの分科会から2～3名を選出することになっておりまして、第3分科会からは、グループリーダーの中から魅力・にぎわい班リーダーの●●さん、潤い・公園班リーダーの●●さんのお二人がワーキンググループに参加していただけるということで、第三分科会の代表となっております。そのことをご報告させていただきます。中間のまとめに向けていろいろな動きがあるかと思っておりますので、ワーキンググループに参加されるお二人から皆さんにお願いやご協力いただくことなど、報告をさせていただきますことになると思いますのでご協力の程よろしくお願いたします。それから、本日から司会をグループリーダーにお願いしたいと思っております。本日は●●さんに司会をやっていただけるということですので、お譲りしたいと思います。

●： まんまとはめられてワーキンググループに出ることになりまして、そちらだけ

やりたかったのですが、司会もやるようにということなので、四谷に住んでいる●●と申します。よろしく願いいたします。

- ： 同じく西落合に住んでおります、潤い・公園班のリーダーをやっております●●と申します。よろしくどうぞお願いいたします。
- ： それでは時間も10分過ぎておりますので、8時50分くらいを目安に休憩は各グループご自由にとっていただく形で、今日はまとめに入っていたきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。区の職員の皆様もご協力お願いいたします。以上です。それでは始めてください。

〔グループ討議〕

### グループ討議の内容（記録より）

#### ① 魅力と賑わい

##### ・ 検討項目

（新宿駅周辺でケーススタディ）

回遊性

オープンカフェ（今回の実施状況に関して）

家守制度

移転誘致（区役所の移転、歌舞伎座の歌舞伎町への誘致、新宿署の誘致による活性化の可能性）

安心・安全（歌舞伎町にファミリー、女性、子供を呼ぶには）

建替え（効率的なビル経営、再開発ビル）

昼夜間人口（地域内格差）

大規模物販店の誘致による歌舞伎町再生

街路灯にICチップを取り付け携帯を通じた情報活用

歌舞伎町ルネッサンスに関して

##### ・ 次回検討項目

歌舞伎町1丁目と新宿3丁目の融合は必要か

安全・安心と風俗店の共棲は可能か

歌舞伎町1丁目、2丁目は別々な町としてアピールする必要があるのではないか

##### ・ 資料の要望

新宿駅を中心としたマップ（都庁～伊勢丹程度まで、なるべく大きいもの）

#### ② 歴史と文化

##### ・ 検討項目

基本的な枠組みの検討

今後の動き（提案の肉づけ）とアウトプットイメージ（地図で変遷を明示、実現

化方策まで)

- ・ 次回検討項目

構想にむけての検討

- ・ 資料の要望

面的事業手法としての検討事例がないか。

### ③ 住まい・暮らし

- ・ 検討項目

#### 【問題点の整理】

使いづらいバリアフリーに関して（バス停）

歩道の駐輪、置き看板に関して

区民、区営住宅の使い方

歩道の掘り起こしの跡が汚い

歴史資料館の前だけきれいで明るい

公開空地がバリアフリーでない

区に住んでいる職員が少ない

行政によるサービスの限界

#### 【実現方法の検討】

ユニバーサルデザインの視点

駐輪のルール作り

住居の提案方法

住民の計画段階からの参加

区と都、国との協同ルールを作成

- ・ 次回検討項目

ユニバーサルデザインを推し進めていくための検討

ユニバーサルデザインのわかる方を呼んで欲しい

### ④ 超高層建築

- ・ 検討項目

【業務棟の超高層建築の現況、課題に関して（西新宿3丁目西地区でケーススタディ）】

立地環境に関して

業務系超高層ビルについて

現状の課題について（道路、緑、公園、用途、歩く楽しさ）

再開発のなかでの超高層ビル

将来像と実現への方策（①みち・ネットワーク②まちなみ景観③みどり④防災⑤文化⑥高齢者関連施設の充実の6つの観点から検討）

補足事項（①幹線道路整備②鉄道の交通網整備③再開発区画の広さ④高齢者

関連施設、スポーツ施設を低層部に設ける)

- ・ 資料の要望

新宿駅南口地区基盤整備事業の JR ビルの資料 (あれば)

⑤ みち・ネットワーク

- ・ 検討項目

第1回リーダー会議の報告

【キーワードについて】

ユニバーサルデザイン

- i) 歩道 (点字ブロック、段差、障害物、棲み分け、管理、憩い、管理経費)
- ii) 車道 (駐車スペース、走行、安全)
- iii) 生活道路 (共存、避難経路、狭小地災害対策、目的別)
- iv) 鉄道 (バス) 地下道 (出入り口、駐輪場、安全な乗降、バス)

ネットワーク (移動手段)

- i) 自転車 (ルール認知、マナー周知、駐輪場確保、鉄道や施設の責任、システムづくり)

ii) 車

iii) バス

iv) 鉄道

防犯

- i) 監視・通報システム (防犯管理、見通し)

防災 (避難経路)

(障害物、電柱、狭小道路の扱い)

緑化 (散歩道等)

(公園から公園をつなぐ温暖化対策、散歩道や歩行者天国の路面)

美化

(ゴミ回収方法、路上喫煙・ポイ捨ての対策)

その他

(エコロジー、置き看板等の不法占拠物についての対策、管理、自転車)

【場所別の検討】

幹線道路、生活道路、空地、鉄道、地下道、バス、システム

【他案】

自転車ルール→9班支えあい仕組み

地域通貨→9班支えあい仕組み

空地利用

馬 (馬車) → 1班魅力と賑わい

⑥ 安全・安心

・ 検討項目

<現状の問題点>

各避難場所（学校） 備蓄倉庫等、運営について、機能していない

広域避難場所のホームレス対応

緊急連絡網の確保（地域・行政・警察）

現在の防災無線で対応可能か？ 防災無線は一方通行

避難所運営会議 地域によって差がある

組織に属さない方に対する情報伝達（町会未加入者企業）

耐震性の問題 現状危険性のある家屋の問題意識

歌舞伎町ルネッサンス運動への影響 暴力団の他地域への移動

犯罪について 外国人犯罪・ひったくり・窃盗・青少年犯罪・ドラッグ・落書き

・ 次回検討事項

自助・共助・公助について具体的展望

⑦ まちなみ・景観

⑧ うるおい・公園

・ 検討項目

(i) 公園が適在適所にあるのか

(ii) 国・都・区の公園があるが、まずは区に絞って検討し、その上で必要ならば国・都にも目を向けていくこととする

(iii) 公園・児童遊園の定義

今後はその公園を取り巻く環境を踏まえて名称の選択をしていきたい

(iv) 区内168箇所の公園の中でも利用価値のないものもある。公園周囲の皆様はどういう公園にしてほしいかという声を聞く。その声になるべく近く再生をしていけたら・・・

(v) 国の大きな公園はかなり遠方の方まで取り込んでいけるが、大きな公園がまったくないような地域は特に今ある公園の見直しを早く進めてはどうか。

(vi) 公園サポーター制度 例) 小泉八雲公園等40箇所ある

主になる公園のサポーターをいかにして作っていくか

(vii) ホームレスへの対策 このグループで議論するかどうかは今後の話し合いの中で決めていく

(viii) 公園の使用の規定を作っていきたい

(ix) 使いやすい公園とはどんな公園か

(x) しんかいばし公園のように公園ごとに近隣の方に参加していただいてご意見を聞く

- (11) すべての公園に植栽は厳しいが近くの公園も合わせて四季を演出する
- (12) コミュニティーの場としての公園についても考えていく
- (13) 街路樹は緑を考える上で大きな力となる →公園の緑とともに合わせて考えていこう

⑨ 支えあい・仕組み

・ 検討項目

具体的な地区協議会の取り組みと連動

区役所と NPO の関係に関して

行政計画に関して

(地区) 協議会の形式の問題点 (公募、準備委員、行政主導、透明性)

情報公開、説明責任に関して

まちづくり条例に関して

マンション、オフィスなどのビル再生の問題に関して

閉 会